

平成26年度新生児聴覚検査実施状況のまとめ

平成28年1月

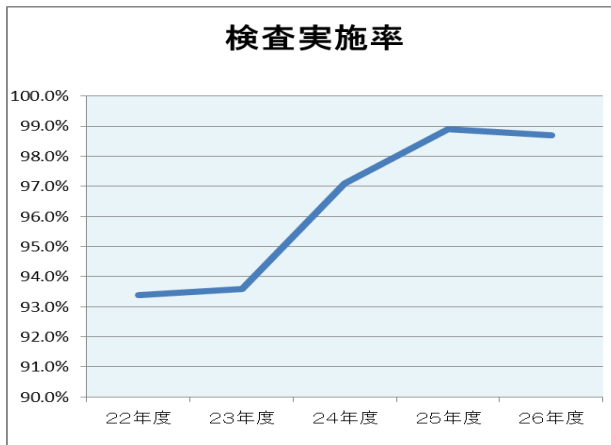
鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子ども発達支援課

- ・新生児聴覚検査は、聴覚障がい早期発見し、早期に児及び保護者に支援を行うことを目的として実施している。
- ・平成26年度は、県内の分娩取扱産科施設16か所について実施状況の調査を行った。(県内の全分娩取扱施設で実施。)
- ・平成26年度の県全体の検査実施率は、98.7%(前年度比0.2%減)となり、わずかに減少したものの、高い実施率を保持している。
- ・このことは、医療機関等のご理解とご協力により、保護者の理解が進んだことによるものと考えており、新生児聴覚検査の早期発見及び早期支援体制の構築に繋がっている。
- ・県全体で難聴の確定診断を受けたのは11件で、新生児聴覚検査件数(5,515件)の0.2%であった。

※この調査は、出産のための入院中に実施した検査結果をとりまとめたものであるが、出産した病院からNICUへ転院した場合、医療機関が異なる場合があるため、検査実施機関を「NICU入院児を除いた状況」と「NICU入院児」に区分して調査したものである。

1 新生児聴覚検査実施状況

- ・県全体の検査実施率は、98.7%(前年度比0.2%減)となった。



年度	検査実施状況		
	出生、入院児数(A)	検査件数(B)	実施率(B/A×100)
26年度	5,587人	5,515件	98.7%
25年度	5,710人	5,648件	98.9%
24年度	5,672人	5,506件	97.1%
23年度	6,073人	5,682件	93.6%
22年度	5,837人	5,449件	93.4%

(1) NICU入院児を除いた状況

①実施状況

- ・検査実施率は98.6%であり、前年度と比べ0.3%減少した。
(H23年度：93.6%、H24年度：96.8%、平成25年度：98.9%)
- ・未実施の理由は「保護者が希望しない」「費用がかかるため」などがあつた。
- ・実施率を圏域別で見ると、東部は98.9%(前年度比0.2%増)、中部圏域は96.7%(前年度比0.6%減)西部圏域は99.1%(前年度比0.6%減)となっている。

・精密検査紹介数は、検査結果でリファーとなった児を精密検査機関へ紹介した件数である。

圏域	検査実施状況			入院中検査			確認検査(1ヶ月健診時)		精密検査紹介数		
	医療機関 出生児数	検査 件数	実施率	パス	リファー	リファー 率	パス	リファー	県内 耳鼻科	県外 耳鼻科	その他
東部	2,077	2,054	98.9%	2,010	44	2.14%	28	16	16	0	0
中部	883	854	96.7%	845	注1) 9	1.05%	0	3	8	1	0
西部	2,066	2,047	99.1%	2,017	注2) 30	1.47%	18	9	10	2	0
合計	5,026	4,955	98.6%	4,872	83	1.68%	46	28	34	3	0

※検査結果：パス→正常、リファー→要再検査

注1：入院中検査でリファーとなった9件のうち6件は確認検査を行わず精密検査機関に紹介。

注2：入院中検査でリファーとなった30件のうち3件は確認検査を行わず精密検査機関に紹介。

②検査機器別実施状況

県全体としての検査機器ごとのリファー率は下表のとおりである(併用はAABRに計上)。

検査実施16施設のうち、AABR使用は10施設(62.5%)、OAE使用は4施設(25%)、併用2施設(12.5%)である。

検査機器	検査件数 (A)	リファー (B)	リファー 率 (B/A)
AABR	3,734	34	0.91%
OAE	1,221	49	4.01%
26年度合計	4,955	83	1.68%
(参考) 25年度合計	5,113	60	1.17%

※併用はAABRに計上

(2) NICU 入院児の状況

①実施状況

- ・全体の検査実施率は、99.8%であり、昨年度と比べ0.4%増加した。
- ・実施率を圏域別で見ると、東部が100% (前年度同比)、中部98.8% (前年度比1.9%増)、西部は100% (前年度同比) となっている。
- ・未実施(1件)の理由は、「保護者の同意がないため」であった。

圏域	検査実施状況			検査結果			精密検査紹介数		
	医療機関 入院児数	検査 件数	実施率	パス	リファー	リファー 率	県内 耳鼻科	県外 耳鼻科	その他
東部	216	216	100.0%	213	3	1.4%	3	0	0
中部	80	79	98.8%	78	1	1.3%	1	0	0
西部	265	265	100.0%	259	6	2.3%	6	0	0
合計	561	560	99.8%	550	10	1.8%	10	0	0

②検査機器別実施状況

すべてのNICU医療機関で、検査機器はAABRを使用。

2 精密検査実施状況

- ・県全体で難聴の確定診断を受けたのは11件で、新生児聴覚検査件数（5,515件）の0.2%であった。

(1) NICU 入院児を除いた状況

①精密検査の受診状況

新生児聴覚検査の結果、県内精密機関（※）への紹介は34件、県外耳鼻科への紹介3件であり、精密検査機関を受診したのは27件だった。

圏域	精密検査紹介数（1ヶ月健診）			受診状況 精密検査 受診者数
	県内産科か らの紹介	県外医療機 関から紹介	その他	
東部	16	0	0	12
中部	7	0	0	5
西部	11	0	0	10
26年度小計	34	0	0	27

※：県立中央病院、日赤病院、県立厚生病院、鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院の5機関

②実施状況

出産のための入院中の検査でリファーとなっていた児が、精密検査の結果、正常とされたいわゆる偽陽性は全体で27例中17例、AABRでは16例中10例（62.5%）、OAEでは、11例中7例（63.6%）であった。

	スクリーニング結果					精密検査結果			
	県内産科か らの紹介	県外産科か らの紹介	検査機器	結果	人数	一側難聴	両側難聴	正常	確定診断 未
全県	27	0	AABR	一側リファー	9	2	0	7	0
				両側リファー	7	1	3	3	0
			OAE	一側リファー	8	1	0	7	0
				両側リファー	3	0	3	0	0
合計					27	4	6	17	0

③難聴児の聴力の内訳と紹介件数

NICU 入院児を除いた難聴児の聴力の内訳は以下のとおりである。県内の聾学校への紹介は2件、県外の難聴児教育施設等へ紹介された事例は1件だった。

	程度	一側難聴	両側難聴	正常	不明	紹介件数		
						県内の 聾学校へ	県外の難聴 児教育施設 等へ	その他
全県	軽度難聴	1	注) 3	17	0	2	1	0
	中程度難聴	0	0					
	高度難聴	3	3					
合計		4	6	17	0	2	1	0

注：軽度両耳難聴例については、聾学校紹介検討中も含む。

(2) NICU 入院児の状況

①精密検査の受診状況

新生児聴覚検査の結果、精密機関への紹介は10件、うち、精密検査機関を受診したのは2件だった。

圏域	精密検査紹介数			受診状況
	県内NICUからの紹介	県外医療機関から紹介	その他	精密検査受診者数
東部	3	0	0	0
中部	1	0	0	0
西部	6	0	0	2
26年度合計	10	0	0	2

②実施状況

出産のための入院中の検査でリファーとなっていた児が、精密検査で正常とされたいわゆる偽陽性は2例中0例（0%）であった。（1例は全身状態不良のため、確定診断未）

	県内NICUからの紹介	県外医療機関からの紹介	スクリーニング結果		精密検査結果			
			検査機器	結果	一側難聴	両側難聴	正常	確定診断未
全県	2	0	AABR	一側リファー	1	0	0	0
				両側リファー	0	0	0	1
合計					1	0	0	1

③難聴児の聴力の内訳と紹介件数

NICU 入院児の難聴児の聴力の内訳は以下のとおりである。県内の聾学校及び、県外の難聴児教育施設等へ紹介された事例はなかった。

	程度	一側難聴	両側難聴	紹介件数	
				県内の聾学校へ	県外の難聴児教育施設等へ
全県	軽度難聴	0	0	0	0
	中等度難聴	0	0		
	高度難聴	1	0		
合計		1	0	0	0

3. 市町村及び保健所訪問指導実施状況

市町村保健師が実施した訪問指導の内訳は以下のとおりである。

新生児訪問の際に保護者から相談を受けた事例が7件、保健所からの連絡による事例が1件、その他の経路（こども園からの連絡）による事例が1件であった。

区分	相談 件数	関係機関からの指導依頼				新生児訪 問での相 談※	健診・予 防接種等 の場	その他の 経路によ る相談	電話相談
		新生児ス クリーニング実 施医療機 関から	聴覚精検 実施医療 機関から	保健所か ら	その他の 機関から				
東部圏域市町村・保健所	5	0	0	0	0	5	0	0	0
中部圏域市町村・保健所	4	0	0	1	0	2	0	1	0
西部圏域市町村・保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	0	0	1	0	7	0	1	0

※市町村保健師からは、より効果的な相談支援が行えるよう、新生児訪問（生後2ヶ月前後に実施）前に、新生児聴覚検査の結果をできるだけ把握したいとの意見があった。

4. 療育・教育指導実施状況

県内精密検査機関から2件、その他の1件は紹介ではなく、聾学校を知った保護者が自発的に相談に来たものである。

療育・教育機関	人数	紹介者		
		耳鼻科医	保健師	その他
聾学校	3	2	0	1
その他	0	0	0	0
合計	3	2	0	1

5. 参考

平成26年度鳥取県出生届出数 4,527人